

第9回教育研究審議会

議事概要

開催日：平成23年8月10日（水）

場 所：本部棟3階大会議室

出席者：加藤祐三学長、高田理孝副学長、福田誠治副学長、椎廣行事務局長、大平栄子学長補佐、阿毛久芳大学院研究科委員長、鶴田清司初等教育学科長、儀部直樹英文学科長、進藤兵社会学科長、大辻千恵子比較文化学科長、杉本光司地域交流研究センター長、稲垣孝博外国語教育研究センター長、重原達也学生課長、相川泰総務課長

欠席者：田中一利理事、清水雅彦学長補佐、牛山恵国文学科長代理

■挨拶

加藤学長よりあいさつ

議 事

1. 専任教員の公募（初等教育学科）について

○担当より説明、審議の結果、一部修正し承認。

- ・採用職名に講師を追加（教授、准教授または専任講師）。
- ・選考委員については、夏休み明けの教育研究審議会にて検討を行う。

2. 「英文学科カリキュラム改定と担当教員について」について

○担当より説明、審議の結果、再度学科会議で協議し、教育研究審議会で十分な説明ができれば再度審議し、そうでない場合は、次年度への人事として継続審議することになった。

- ・教員配置を考える立場としては、英文学の必要性という点において説明が不十分であると感じられることから、10月の学科会議で再度協議し、教育研究審議会へ再度納得できる説明が得られた場合は、人事を検討する方向で対処したい。そうでない場合は、今年度継続となった人事案件として次年度に優先的に審議していく。（平成24年度は非常勤の先生で授業や卒論の対応をお願いしたい。）
- ・英文学科としては、単なる補充人事としての提案ではなく、英文学の専任教員が必要であるということを理解してほしい。また、学科で再度話し合いをしてもこれ以上の意見は出てこないように思える。

3. 平成23年度非常勤講師（社会学科：「自然保護と法」）提案について

○担当より説明、審議の結果、提案通り承認。

4. 都留文科大学ハラスメントの防止等に関する規程（案）について

*今回、審議は行わず9/28の教育研究審議会にて再度提案。現時点で整備されているところまでの資料をメールにて各委員へ配布する。

5. 都留文科大学大学院リサーチ・アシスタント規程（案）について

○担当より説明、審議の結果、提案通り承認。

6. 社会学科2専攻化後4年間の現状と課題（案）について

○担当説明、審議の結果、タイトルを「社会学科2専攻化4年間の経験と今後の課題」とし、最終版を出来るだけ早く再度提出してもらおう。

7. 海外指定校留学生受け入れ制度（案）について

○英文学科教授より（国際交流室長）説明、審議の結果、提案通り承認。

- ・経緯として、指定校留学制度に関して、昨年度来、本学の留学生に対する教育の評判を聞いて、本学に授業料を納入して学ぶ学生を派遣したいという申し出が、複数の外国の大学からすでに出てきており、そのように需要もあるので、「指定校留学生受け入れ制度」を設置し、本学の国際交流の一層の促進を図る。

8. その他

*日本語教育の特任教員の採用については、8/10に国際交流室長から話を受けたので、これから進めていきたい。

報 告

1. プロジェクトA 中間報告について

○担当より報告。

- ・初等教育学科のセンター利用推薦は、平成25年度入試から利用科目数が2科目から3科目になるので、比較文化学科でも対応を考えていかななくてはならない。
(2科目から3科目にすることでの点数の割合は、シュミレーションではあまり大きな差は見られなく、学力は落ちない。)
- ・前期試験、中期試験での最低得点・最高得点の差は、学科での試験の難易度やセンター試験と本試験との割合の差から生じていると考えられるので、今後検討していく必要もあるかもしれない。

2. プロジェクトB 中間報告について

○担当より報告。

- ・今後の想定しておくべき課題として、教育学部の設置については、地方交付税交付金は、文学部と同一金額であり、本学にとって教育学部新設はとりたててメリットがないように思われる。また、教職大学院設置が可能となる時は、現在の条件が相当に変更される場合に限られる。

3. プロジェクトC 中間報告について

○担当より報告。

- ・プロジェクト発足にあたり検討課題が3つ挙げられ、現在は第7回目のプロジェクトに向けての準備段階であり、具体的な分析はこれから行っていく。

①科目当たりの受講生の適切さについての分析

②教養教育の現状と分析

③専任教員と非常勤講師の担当科目の分担状況の分析

- ・カリキュラム改定スケジュール表（案）を作成し、表に沿ってカリキュラムの改定等を行って行く。

4. その他

*国文学科（国文学：近代）の教員選考委員について

報告がされていなかった比較文化学科の選考委員について報告。

*防災委員について

前回の教育研究審議会にて議論のあった、国文学科（学科選出）と初等教育学科（学長推薦）の委員については、国文学科は提案通りとし、初等教育学科の委員については比較文化学科の女性教員から、代わりに選出することになった。